



特定非営利活動法人 山崎・谷戸の会
会報 第108号 2022年3月5日発行

本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。

はーるよ こい
はーやく こい



アカガエルの卵塊

ひと雨ごとに空気がゆるんで、春めいています。アカガエルも野の花も例年通りに蘇ってきました。谷戸は春の準備万端。1枚脱いで農作業に取り組みましょう。

お知らせ & 新規募集

春の谷戸まつり 4/29(祝・金)10:00～

場所：野外生活体験広場(荒天中止)

炊き出しは未定

頒布コーナー 米・畑の収穫物・わら・薪・麦わら細工

体験コーナー ノコギリ体験ほか

マスク着用にてご来園ください。コロナ感染症拡大防止策を行っております。ご協力をお願いします。

オリエンテーション 4/10(日)13:00～

会場 管理棟2階 研修室

申し込み・お問い合わせはメール、
電話にて当会まで

里山探検隊

農体験や谷戸の遊びをします。

★小学生(会員)対象 ★全6回通年参加できる方

★活動時間 10時～12時

申し込みは、ホームページをご確認ください。

谷戸塾

保全作業、観察会、農芸体験で谷戸を学びます。

★活動時間

9:30～12:00(保全作業)

13:30～15:00(座学)



カエルは谷戸の王様 谷戸には、今の鎌倉では珍しくなった里山の生きものが暮らしています。その代表がカエルでしょう。田舎に行けばカエルはたくさんいると思っている人もいるでしょうが、近年は、林に囲まれた小さな田んぼが次々に放棄され、谷戸の田んぼのように多くの種類のカエルが棲んでいる田んぼは貴重になってきました。何より、公園の中の田んぼでカエルの保護をしている例は全国的に珍しいでしょう。

谷戸のカエル 谷戸には、ウシガエル、ヒキガエル、モリアオガエル、ヤマアカガエル、ニホンアカガエル、シュレーゲルアオガエル、アマガエル（以上、大きさ順）の7種類が生息しています。そのうち、ウシガエルは大正時代にアメリカから食用のため、養殖の目的で輸入されたものが逃げ出し野生化したものです。モリアオガエルは数年前に、誰かが県外から市内の長谷、極楽寺地区に持ち込んだ個体が谷戸にも広がってきました。その他、幻のカエルとして、ツチガエル（20年ほど前に絶滅？）とトウキョウダルマガエル（数年に一度見つかる）がいます。

早春のカエル暦 2月に雨が降ると、寒さがゆるんだ夜、田んぼでアカガエルがキャララと鳴きながら産卵を始めます。3月のひな祭りが過ぎるころ、ククク、コココと小さな笑い声のような鳴き声が聞こえたら、ヒキガエルが集まっているのかもしれません。湿地の水たまりに集まり、ヒモのような卵を産みます。春のお彼岸になるとキリリコロロという声で、田んぼがにぎやかになります。シュレーゲルアオガエルが山から下りてきたのです。谷戸では田んぼの農作業の始まりを告げる声です。田うないが始まる連休のころには、谷戸の畔に泡のような卵塊が見つかります。

カエルは注目したい生きもの カエルは鳴き声や卵、オタマジャクシが目立つので増減がわかりやすいです。産卵場所やオタマジャクシが育つ環境が決まっているので保護対策をとれますが、裏をかえせば、少しの環境変化で絶滅しやすいとも言えます。会の発足以前から、昔ながらの田んぼの継承や湿地の水たまりを保全するなど意識的に保護してきましたが、カエルが減少（アカガエル類は3分の1）しつつあるのが現状です。ここ数年の保護活動と経過観察でその要因が見えてきたので次号でお伝えいたします。

体験学習

（小坂小3）ざっそうの根っこって、こんなにのびるんだ。ざっそうをめく作業が楽しかったです。

（教育支援教室ひだまり）僕が一番楽しかった「たい肥作り」を紹介します。たい肥をつくる箱の中に落ち葉、稲わら、米ぬかを入れて足でふみ固めました。この作業を3、4回くりかえした後、バケツで水をいれました。僕は、箱の中に入ってふみ固める時、ふかふかして気持ちよかったです。

（深沢小5・収穫祭）昔の人はずっと大変だったけれど、自分たちみたいに、その作ったものたちがおいしいからまた作ろうってなるんじゃないのかなとこの谷戸かつどうを思いました。

（深沢小5・収穫祭）落ち葉を集めて、どんどん下に転がしていくという作業ですごく疲れました。その後に土をたがやまして、めっちゃ疲れました。でも仕事終わりに食べたご飯と言ったら…もう感動ですよ！自分たちの育てたお米すごくおいしかったです。

谷戸往来

寄附をいただきました

2021年度、以下の方に寄付をいただきました。谷戸保全活動に有効に使わせていただきます。ありがとうございました。（敬称略） 故相川政夫 井芹美樹子 磯尾佳代子 蛭名喜代作 岡東 務 岡野万里 岡村静子 奥山茂樹 川上克己 小林美保 佐山美和子 早乙女千博 田中たかね 田中敏恵 徳永かおる 藤本実太郎 安田紀代子 山本勝久

（公財）イオン環境財団助成決定

第31回イオン環境活動助成公募に応募した事業について採択されました。

出張冒険遊び場

2月11日（祝・金）NPO法人かまくら冒険遊び場やまもり協働開催しました。里山の冒険遊び場をたくさんの親子に楽しんでもらえました。

各班のお知らせ

田んぼ班

来シーズン準備期間の冬は、苗床の保温や土壌改良用の粉殻くん炭を作る傍らで、堆肥撒ぎや苗床耕し、畔直しをしました。本田脇アシ原を耕して苗床にしたり、俵で畔を直すチャレンジが進行中です。



 2/9 さつまいもの新苗床

自然遊び班

「里山探検隊」★すだれ作りが面白かった。初めて作りました(6年)★自分で作ったおはしで、すぐにお弁当を食べてました。なんとも言えないよい表情でご飯をほおばっていました。(参加保護者)



 1/16 里山探検隊 竹細工・すだれ作り・むしろ編み

2/16 野草調査



生態系保全班

崩れた斜面の再生を試みたいと思います。調査し、木々が小さいうちに手入れ、その後、育成中のドングリ苗を移植する予定です。数年単位の取り組みになるため気長に活動していきます。

雑木林管理班

年明けに雑木林を調査・測定し、昨年と比較して少しずつ生長していることを確認しました。間伐、枝打ちした材などは、谷戸活動全体に渡って活かされます。春先には薪も作る計画です。

畑班

5年経過して腐朽したさつまいもの苗床を新調した。世代が変わっても新しい知恵で今まで以上のものができるのが谷戸の仲間のすごいところ。3月の種芋の伏せ込み、そして5月の苗取りが楽しみです。

植物育成班

春の野草の芽が出やすいように、アシ原や土手の手入れを冬の間にしました。暖くなると一斉に芽吹いてきます。冬の保全の成果が表れるときなので、手入れの時期ややり方など調査に熱が入ります。

農芸班

昔、梅の枝に文を(願望を叶える札)下げて売り歩いていた覆面男が、街を賑わしていたとか。顔を隠すマスク姿は感染対策のよう。悪しきものを全て流し去ってと春先の谷戸の蕾にも願いを込めました。

3 月

6 日 (日) 田 道具の手入れ ☆
 畑 道具の手入れ ☆
 雑 山作業道具の手入れ ☆
 自 父と子の里山体験 ▶
 講座「早春の谷戸散策」 ☆
 9 日 (水) 畑 じゃがいもの植え付け ♣
 植 早春の植物の観察 ♣
 13 日 (日) 田 畔・水口直し
 雑 雑木林の除間伐 ♣
 14 日 (月) 畑 さといも予定地の耕し
 20 日 (日) 田 畔・水口直し
 雑 雑木林の除間伐
 23 日 (水) 生 春の野鳥観察 ♣
 27 日 (日) 雑 斧で薪割り ♣
 田 ため池整備

4 月

3 日 (日) 田 苗床整備
 雑 間伐材の活用 ♣
 6 日 (水) 植 雑木林の植物調査
 9 日 (土) 田 種粃蒔き
 10 日 (日) 田 種粃蒔き ☆
 畑 さといも畑の畝作り
 雑 竹林の整備 ☆
 オリエンテーション
 17 日 (日) 田 田うない ♣
 18 日 (月) 畑 さといもの植付け ♣
 24 日 (日) 田 田うない
 25 日 (月) 畑 畑の整備
 27 日 (水) 植 フジの花の観察 ♣
 29 日 (祝・金) 春の谷戸まつり

5 月

1 日 (日) 田 田うない ☆
 3 日 (祝・火) 講座「谷戸の茶摘み」 ☆
 4 日 (祝・水) 田 畔草刈り、苗床草取り ♣
 8 日 (日) 田 くろつけ
 自 里山探検隊「春の谷戸しごと」
 9 日 (月) 畑 さつまいも畑の畝作り ☆
 14 日 (土) 田 くろつけ、しろかき
 15 日 (日) 田 くろつけ、しろかき ☆
 畑 畑の整備 ♣
 18 日 (水) 植 貴重な植物の分布調査
 21 日 (土) 田 しろかき ☆
 22 日 (日) 田 しろかき
 29 日 (日) 田 しろかき、紐はり
 30 日 (月) 畑 さつまいもの苗植え ☆

今後の情勢によって中止や延期の可能性があります。
 ホームページ、または事務所にご確認ください。

☆ 谷戸塾 ♣ 里山一日体験
 各班活動 農家風休憩舎 9:30 集合
 (農芸班、自然遊び班は、10 時)
 ▶ 会員以外の方 参加費500円/組

田：田んぼ班 畑：畑班 雑：雑木林管理班
 農：農芸班 自：自然遊び班
 生：生態系保全班 植：植物育成班

〒247-0066 鎌倉市山崎 1667 鎌倉中央公園管理事務所内

TEL/FAX 0467-47-1164 木曜を除く 10 時～16 時

ホームページ : <https://yato-yamasaki.sakura.ne.jp>

Eメールアドレス: ya-yato@arrow.ocn.ne.jp

- 次号 (会報 109 号) は、2022 年 5 月に発行予定
- 会費 郵便振替口座番号 00270-6-115647

